



DOSSIER DE PRESSE
OFFICE DE TOURISME
ET DES CONGRES
DE SAINT-ETIENNE
MÉTROPOLE

サン・テティエンヌ
観光会議局
プレス資料



TOP
FRENCH
CITIES
The best way
to experience France

/saintétienne/
OUI, RÉPONSE À VOS QUESTIONS

目次

P.01

豊かな歴史

P.03

デザインの街

P.06

文化の街

P.09

「自然」を楽しむ

P.12

さまざまな大イベント

P.15

ショッピングと
お出かけ

P.17

ビジネスにもぴったりの
魅力的なデスティネーション

P.19

移動、アクセス

P.21

取材のトピック

P.22

連絡先&プレスキット



1/2

豊かな歴史

ユニークで魅力的な歴史を誇るサン・テティエンヌは、あらゆる点で人を惹きつける街です。勇敢で勤勉な土地柄で、産業が盛んな時代からフランスにおけるデザインの街となったこんにちまで進化を続けてきました。サン・テティエンヌでは何世紀も前から、街を形作り、フランスの歴史に影響を与えた多くの産業が栄えました。炭鉱開発から絹リボンの生産、兵器産業、人気サッカーチーム、そしてデザインへと、この街にはいつも創造性、才能、革新性が集まっていたのです。

炭鉱、リボン、 そのほかの産業

サン・テティエンヌの産業の歴史は、街の名前を国外にも知らしめ、経済的繁栄をもたらしたいくつもの経済活動に彩られています。まず石炭産業がこの地方を大きく発展させるきっかけとなりました。最盛期には192の立坑をかぞえ、産業革命後にはフランスの石炭の全生産量の半分を産出しました。また、サン・テティエンヌとAndrézieux アンドレジューの港まで最初の鉄道区間が敷設されたのも、石炭輸送のためでした。1881年には、フランス初のトラムウェイがサン・テティエンヌで開業し、それ以来ずっと街を走り続けています。かつてフランスの多くの都市でトラムウェイが廃止されたことを考えると、これは珍しいケースといえるでしょう。そのほかにも多くの経済活動がサン・テティエンヌの産業を特徴づけ、この街の名を高めています。19世紀にはここにはフランスでもっとも多くの労働者が暮らしていました。19世紀の終わりには国立兵器工場で9000人以上が働き、毎日1600丁近い銃を作っていました。同じ時期に、7万人がサン・テティエンヌのもう一つの主要産業である繊維産業に従事していました。ジャカード織の普及によって、サン・テティエンヌは絹のリボンで知られるようになりました。また金銀細工もたび重なる経済危機を乗り越えて引き継がれています。サン・テティエンヌは、自転車関連産業でも有名です。兵器製造業者であったMimard ミマールが、兵器の発注数が減少する時期に生産を補うために自転車製造を始めたのです。

デザインの街へ

石炭や兵器産業が盛んだった時代から、サン・テティエンヌの街は大きく変わりました。ここ数十年、サン・テティエンヌは絶えず変化を続けています。コンサートホールのZénith ゼニット (Sir Norman Foster ノーマン・フォスター卿の設計)、Cité du design シテ・デュ・デザイン (LIN 設計事務所、Finn Geipel et Giulia Andi フィン・ゲイペル+ジュリア・アンディの設計)、サッカーのUEFA ユーロ2016のためのstade Geoffroy-Guichard スタッド・ジェフロワ=ギシャールのリノベーションなど、街を象徴する建築物が作られました。これらは時とともに経済活動が変化してきたサン・テティエンヌが本来持っていた活力の表れです。工業の街として栄えたサン・テティエンヌは、デザインの街へと進み始めました。将来を見すえた目標が生まれ、社会と環境の変化に関心が集まっています。

サン・テティエンヌは、
街全体がまさに
技術と経済の
実験室です



◀ シェアサイクルのヴェリヴェール
© Magali Stora - Vélivert

SAINT-ETIENNE / Tourisme & Congrès /

▲ サン・テティエンヌ
© Christophe ROY_16 - Saint-Etienne

SAINT-ETIENNE / Tourisme & Congrès /

豊かな歴史



サン・テティエンヌとサッカー： ひとつのラブストーリー

サッカーなくしてサン・テティエンヌは語れない

世界的に知られる les Verts レ・ヴェール（緑たち。地元チームの愛称）は子どもも大人も夢中にさせ続けています。1919年に有名小売チェーンの Casino カジノ社(本社は今もサン・テティエンヌにあります)のオーナーであった Geoffroy-Guichard ジェフロワ・ギシャールが、社員たちの娯楽のために「カジノスポーツ愛好会」を作り、サッカー、バスケットボール、テニス、陸上競技などを楽しめるようにしました。この時以来、クラブのカラーは緑と白（カジノグループの色）です。1931年に競技場 stade Geoffroy Guichard スタッド・ジェフロワ＝ギシャールがオープンし、1933年にはカジノスポーツ愛好会は「AS サン・テティエンヌ」となり、プロサッカーリーグに参入しました。このときから、チームはフランス国内で10回の優勝（最多記録）、6回のフランスカップ優勝、1回のリーグカップ優勝という成績をあげ、ヨーロッパの数々の大会にも参加しています。いちばん有名なのは、1976年のチャンピオンズカップの決勝でのバイエルン・ミュンヘンとの対戦でしょう。ラルケ、バトゥネ、ロシュトールたちのシュートをはじいたグラスゴウの四角いゴールポストのことは、今もファンの記憶に残っています。

- ▲ ASサン・テティエンヌ博物館
© Musée des Verts - photo ASSE
- ▶ スタッド・ジェフロワ＝ギシャール
© Chaix et Morel Associes - photo stade

デザインの街

サン・テティエンヌは、2010年11月に、フランスで初めて、ヨーロッパではベルリンに次いで2番目に、ユネスコの創造都市ネットワークに加わりました。



ユネスコから認められた、 フランスにおけるデザインの 中心地

ユネスコの創造都市ネットワークは加入条件が厳しく、モントリオール、北京、名古屋、ビルバオ、ヘルシンキ、深圳、ソウル、トリノといった他のメンバーである15の大都市との交流が行われます。ネットワークのメンバーになったサン・テティエンヌは、創造都市の名のとおり、デザインという点からフランスを代表する街となったのです。国際的にデザインの街として知られるようになったことは、街の経済、社会、文化が発展する上で決定的な要素となりました。創造性、デザイン、共同の精神が、サン・テティエンヌを活性化し続けてきたパワーです。デザイン産業は、街に深く根づいています。サン・テティエンヌでは、常設展示、デザインをテーマにした大規模なイベントが開催され、デザインを念頭に置いた文化、建築、都市デザインが実践されています。フランス有数の名門校となった École Supérieure d'Art et Design (ESADSE) サン・テティエンヌ高等美術学校の存在も忘れることはできません。サン・テティエンヌにデザインのDNAが息づいているのは、工業と芸術の分野でバイオニアであったこととつながっています。工場生産でたいへん栄えたサン・テティエンヌは、あらゆる分野で新しいことを始める能力で歴史に名を刻んできました。たとえば、通信販売、医療用繊維の生産、文化の地方分散はサン・テティエンヌで始まったのです！



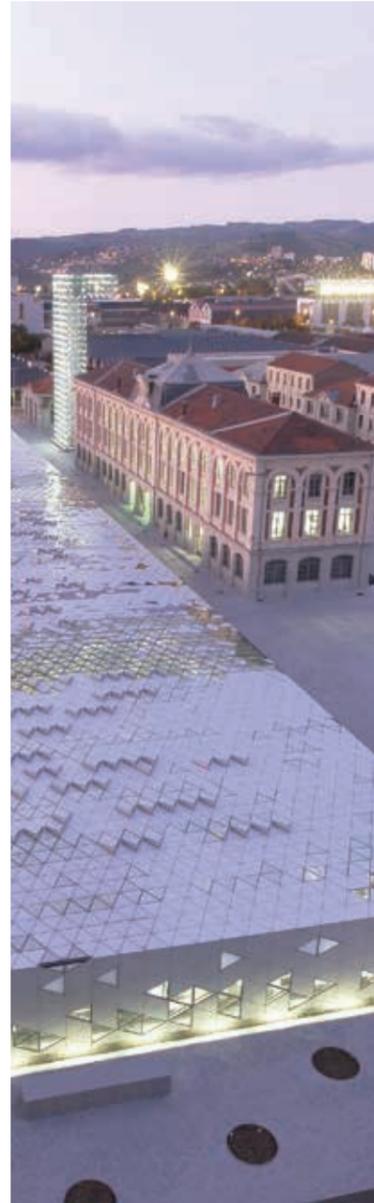
- ▲ シテ・デュ・デザイン
© Agence LIN architectes Finn Geipel et Giulia Andi - Cité du design
- ◀ シテ・デュ・デザインのラ・プラティーヌ
© LIN Finn Geipel et Giulia Andi, photographe Jan-Oliver Kunze - Cité du Design Platine



ユニークな文化施設 CITÉ DU DESIGN シテ・デュ・デザイン

サン・テティエンヌのクリエイティブな一角の中心に、シテ・デュ・デザインは建っています。ここは2001年に操業を終えた国立兵器工場の跡地です。街を象徴するこの建物は、ベルリンのLIN設計事務所のフィン・ゲイペルとジュリア・アンディの設計です。33000平方メートルの敷地にある3つの建物がリニューアルされました。La Platine ラ・プラティーヌはシテ・デュ・デザインの中心的な建物で、セミナールーム、カンファレンスルーム、視聴覚ホール、企画展やメディア関連のイベント用スペースがあります。網状の鋼鉄で作られた長さ193メートルのこの建物には、レストラン（la Platine ラ・プラティーヌ）、温室、図書館、あらゆる素材を集めたマテリアテックも設置されています。そのほかシテ・デュ・デザインで忘れてはならないのは、高さ32メートルの堂々たる見張り塔でしょう。この上からは、街のすばらしい景色が見下ろせます。サン・テティエンヌのシテ・デュ・デザインは、フランスでは他に例を見ない施設です。一つの場所にシテ・デュ・デザインの建物とサン・テティエンヌ高等美術学校が集まっているからです。またここはサン・テティエンヌ国際デザイン・ビエンナーレのメイン会場でもあります。2005年に創設され2009年にオープンしたシテ・デュ・デザインは、まずなによりもデザインに関連した創造、研究、教育のプラットフォームであり、文化と経済が交差する創造性のつぼみなのです。シテ・デュ・デザインは、発展と革新を促進し、あらゆる人々（企業、公的当事者、大学関係者、一般大衆）の関心をデザインに向けることを目指しています。

デザインの街

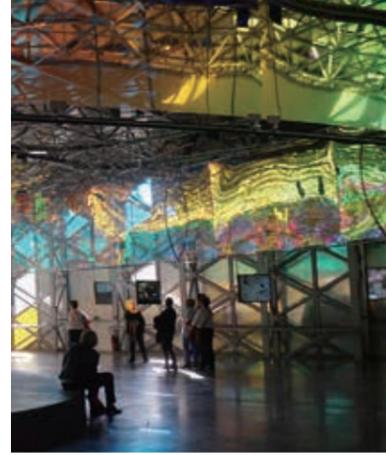


国際的なイベント

国際デザイン・ビエンナーレ

Jacques Bonnaval ジャック・ボナヴァルによって1998年に創設されたサン・テティエンヌ国際デザイン・ビエンナーレは、デザインをテーマにした国際的イベントとしては最も大規模なもののひとつとなりました。

2017年3月9日から4月9日に開催された第10回には、23万人近い来場者(そのうちジャーナリストが400人)があり、前回よりも10パーセント増となりました。このビエンナーレは誰でも入場することができ、プロフェッショナルだけでなく個人の来場者も楽しめるようになっています。クリエイター、企業、学生、学校、編集者、メディア… ビエンナーレではさまざまな人々が経験を分かちあい、考えを深め、交流しています。毎回、テーマ別のたくさんの展覧会、パフォーマンス、アトリエ、シンポジウム、講演会が開催され、いずれもレベルの高い内容です。2017年は、ビエンナーレは139の場所(シテ・デュ・デザイン、フィルミニのシテ・ル・コルビュジェ、近現代美術館、芸術産業美術館など)で行われました。今年は「ワーキング・プロメス」というテーマをめぐって500以上のイベントが開催され、名古屋など13のデザイン都市から500人以上のプロフェッショナルが参加しました。



このビエンナーレの特徴は、確固たるクリエイティブな哲学と、コンテンポラリーな創造の重視にあります。そして誰もが楽しめる雰囲気を目指しています。

フランスでも他に例のないこのイベントは国内の他の地方へも広がっており(とりわけリヨン地方)、デザインがより多くの人々の興味をひくようになっています。



デザインの街

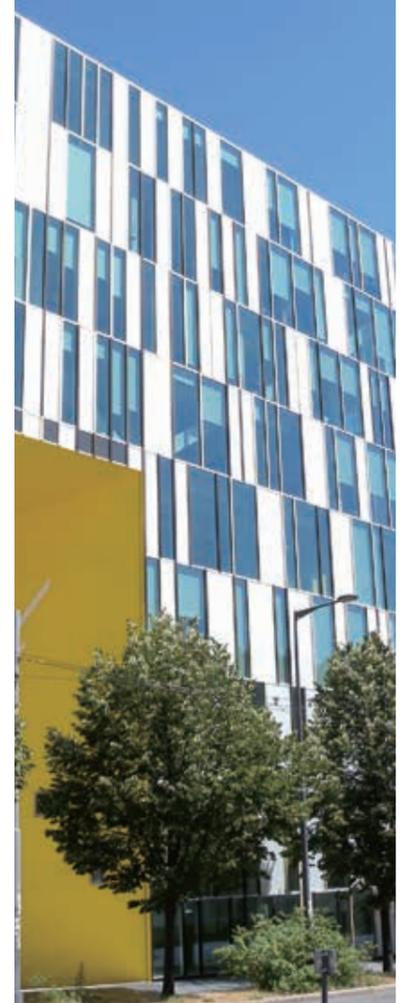
サン・テティエンヌでは、あらゆる場所にデザインが生かされています。まず建築では、ここ数年、たくさんのプロジェクトがデザインを重視しています。シテ・デュ・デザインの中心的な建物であるプラティエヌもその一例です。サン・テティエンヌを訪れると、ほかにも計27000平方メートルのオフィスが入る Îlot Grüner イロ・グリュネ(マニユエル・ゴトラン設計)、Zénith ゼニット(ノーマン・フォスター卿設計)、Fil フィル(現代音楽のホール)、stade Geoffroy-Guichard スタッド・ジェフロワ=ギシャール、シネコンにリニューアルされたかつての消防署である Camion rouge カミヨン・ルーージュなど、大きな建築物が目に入ります。ほかにもデザインが重視された例として、Jacquard ジャカール街の l'amicale laïque Chapelon シャブロン友の会(2014年に建築の賞である「銀の定規賞」を受賞)、サン・テティエンヌ観光会議局のプラットフォームのリノベーションも挙げられます。街なかでも、デザインは存在感を発揮しています。Jean-Jaurès ジャン・ジョレス広場や、ガラスの柱とステンレスの長い噴水がある市庁舎広場をみればすぐにわかります。Chavanelle シャヴァネル広場にはコンテンポラリー・アートの作品が展示されています。市庁舎のアーケード、Crêt-de-Roc クレ・デュ・ロックの歩行者専用橋、Châteaucreux シャトールー駅の広場なども一見の価値あります。

サン・テティエンヌでは、 デザインが街を 生まれ変わらせた

ここ数年、街の商店もデザインを意識しています。とくにレストラン(Bistrot du Poissonnier ビストロ・デュ・ポワソニエ、Bougre d'Âne ブーグル・ダースなど)、ワインショップ(Le Verre Galant ル・ヴェール・ギャラン、Demain les Vins ドウマン・レ・ヴァン、A Vin Pas des Marches ア・ヴァン・パ・デ・マルシュなど)、そのほか書店の Croquelinottes クロクリノット、エビスリーの Vrac en Vert, ヴラック・アン・ヴェール、Marion Clément Chapelière マリオン・クレマン・シャプリエール、インテリアショップの Bodo ボド、Porcelanosa ボルセラノーザなどがデザインに凝った店舗作りをしています。

サン・テティエンヌの外にも、Firminy フィルミニの site Le Corbusier ル・コルビュジェ建築群、Saint-Chamond サン・シャモンにある Novaciéries ノヴァシエリーのエコサイトなど、興味深いデザインのスポットがあります。

観光会議局は、サン・テティエンヌ・メトロポール、サン・テティエンヌ市、シテ・デュ・デザイン、サン・テティエンヌ整備公団との協力で、le Saint-Etienne design city guide サン・テティエンヌ・デザイン・シティーガイドを作りました。このガイドには、サン・テティエンヌのデザイン関連の施設などがリストアップされていて、簡単にアクセスできるようになっています。



文化の街

サッカー、産業の歴史、近現代アート。サン・テティエンヌの都市部には、それぞれのテーマの博物館があります。

Le Musée d'art moderne et contemporain de Saint-Etienne Métropole サン・テティエンヌ・メトロポール近現代美術館
街の北の入口にあり、毎年 55000 人の来場者を迎え、大規模な企画展や常設展が開催されています。この美術館には、フランスでトップクラスの 19 世紀から 21 世紀まで 19000 点の作品が所蔵され、20 世紀のアート作品（絵画、彫刻、写真、デザイン）は、当時の世界の芸術創作の概観を知ることのできる内容となっています。この美術館には、フランスの 4 つの主要なデザインコレクションのうちの一つが所蔵されています（2500 点）。2017 年は開館 30 周年で、Anish Kapoor アニッシュ・カプーア、Jean-Michel Othoniel ジャン＝ミシェル・オトニエルなど世界的に有名なアーティストの斬新な展覧会が開催されます。

多種多様な 美術館・博物館

Le Musée d'Art et d'Industrie 芸術産業博物館
芸術と歴史、技術と科学をテーマにしています。サン・テティエンヌの手工業技術を伝える、中世から現代までの多数の兵器コレクションが知られています。サン・テティエンヌでは最初のフランス製自転車を作られたから、街の歴史と切りはなすことができない自転車の歴史もたどることができます。そのほか、世界中のリボンのコレクションもあります。

Puits Couriot クリオ立坑では炭坑の歴史に光を当てています（この立坑は 1973 年まで操業していました）。

Le Puits Couriot Parc-Musée de la Mine クリオ立坑炭坑博物館公園
ここではサン・テティエンヌ地方の炭坑とそこで働く人々の歴史を学ぶことができます。かつての大きな「洗面所」、ランプ保管所、採掘機の部屋、燃料部屋などが再現されています。また骨組みだけの籠で炭坑の奥深くまで入り、再現された内部を見学できます。屋外には 8 ヘクタールの公園があって、子どもの遊び場やピクニックスペース、広々とした芝生があります。



フランス初のサッカーチーム博物館が、スタッド・ジェフロワ＝ギシャール（その形から、鍋を意味するショドロンと呼ばれています）の中にあります。

Musée des Verts AS サン・テティエンヌ博物館
チームとサッカーの歴史が展示されています。バラエティーに富んだ企画展は 6 ヶ月ごとに変ります。この伝説的なスタッドは、UEFA ユーロ 2016 開催のときに座席数を 42000 に増やしました。博物館とともにスタッドも見学できます。

サン・テティエンヌの多様な文化と地理を楽しむために、**Saint-Etienne City Card** サン・テティエンヌ・シティー・カードがおすすめです。サン・テティエンヌ観光会議局で発行している観光用パスで、さまざまなサービスや施設の料金（美術館・博物館、ガイドツアー、公共交通…）が無料または割引になります。有効期間は 1 日、2 日、3 日の 3 種類です。

文化の街

芸術と歴史の街 サン・テティエンヌ

サン・テティエンヌは、フランス文化通信省により、163 の「芸術と歴史の街」のひとつに指定されています。きわめて重要な 19 世紀、20 世紀の遺産により、2001 年に最初に指定を受けたのです。これらの遺産は、産業活動を伝え、大きな影響を与えた社会の歴史の証人でもあります。また、街の歴史地区には、中世とルネサンス時代の雰囲気が残ります。place Boivin ボワヴァン広場の大聖堂はゴシック様式で、14 世紀に建てられました。その向かいにあるフランソワ一世ゆかりの家は 15 世紀から 16 世紀に建造されました。建築家で道路管理官であった Jean-

多様な文化を誇る サン・テティエンヌ

サン・テティエンヌでは、あらゆる人のためのさまざまな規模の文化イベントが数多く開催されています。豊富なプログラム、多様なスペクタクル、地元と外国のアーティストを結びつけるダイバーシティが、密度の濃い文化事業を実現しています。プラネタリウム、映画館（そのうち 2 館は商業ベースに乗らない実験映画上映館）、たくさんの美術館・博物館だけでなく、カフェシアターや劇場も数多くあります。1947 年からサン・テティエンヌには Jean Dasté ジャン・ダステが創設したフランスで最初の国立演劇センターのひとつがあります。La Comédie de Saint-Etienne ラ・コメディー・ドゥ・サン・テティエンヌはシーズンごとに約 40 の演劇を上演して、現代文学にも貢献しています。交響楽、室内楽、オペラなどの音楽は、オペラ座が素晴らしいプログラムを上演し

Michel Dalgabio ジャン＝ミシェル・ダルガビオ（19 世紀）が設計した新市街から avenue de la Libération リベラシオン大通りの貫通路まで、大規模な都市計画が行われました。19 世紀には、フランスで最初の工業都市であったサン・テティエンヌでは、冶金、リボン、兵器が主な産業でした。裕福な仲買人たちが街を作ったのです。街の中心部には、素晴らしい建築物が残ります。リベラシオン大通りの Hôtel des Ingénieurs オテル・デ・ザンジェニール（19 世紀）の正面には、街の歴史を表現した彫刻がほどこざれています。同じ通りの建物には、Joseph

Lamberton ジョゼフ・ランベルトン（19 - 20 世紀）の彫刻した扉のあるものがいくつかあります。トラムウェイで数分のところには、階段のない家が 2 軒あります。サン・テティエンヌならではのこれらの家は 20 世紀の建築家 Auguste Bossu オーギュスト・ボシュが作りしました。ボシュは第一次大戦と第二次大戦の間の時期に、サン・テティエンヌに数多くの建物を建てました。文化省から承認を受けたガイドによる歴史遺産をめぐるツアーでは、たくさんの建築遺産や建築の細部、彫刻などをとおして街の歴史をご紹介します。

ています。オペラ座の大道具工房、衣装工房、合唱隊がプログラムの高いクオリティーを守っています。サン・テティエンヌには、いま流行の音楽を演奏するホールもあります。たくさんのプログラムを上演している Fil フィルは、コンサート、DJ ナイト、地元のアーティストの公演などで、アヴァンギャルドなスポットとなっています。そこから数百メートルのところに、ローヌ・アルプ地方で最初に作られた Zénith ゼニットがあり、音楽やスポーツの大きなイベントを開催しています。サン・テティエンヌとその都市圏では、多分野にわたるフェスティバルが開かれています。（シャンソンのフェスティバル Paroles et musiques パロル・エ・ミュージック、多分野にわたるアートイベント 7 Collines セット・コリーヌ、Rhino Jazz (s) , リノ・ジャズ、バーレスク・アート、室内

楽フェスティバル。BWD12、ケルト文化の祭典 Roches Celtiques ロッシュ・セルティック、フランス語楽曲のフェスティバル。Les Oreilles en Pointe レ・ゾレイユ・アン・ポワント、les Musicales レ・ミュージカルなど）またブックフェアの Fête du Livre フェット・デュ・リーヴルは人気の大イベントで、30 年というフランス国内でも有数の古い歴史を誇ります。10 月に行われる 3 日間のフェア会期中には、300 人の作家、10 万人の来場者が集まります。ブックフェアはサン・テティエンヌの多くの文化施設やパートナーとの共同で開催されています。またサン・テティエンヌは国際デザイン・ピエンナーレを開催しています。2017 年の春に行われた第 10 回では、23 万人の来場者がありました。



▲ 青い馬
© Assan Smati - Chevaux bleus
◀ 色とりどりの木
© Magali Stora - Arbre multicolor Châteaureux

文化の街

ル・コルビュジエによる ヨーロッパ最大の都市計画 FIRMINY-VERT フィルミニ・ヴェール

サン・テティエンヌから数キロの Ondaine オンデーヌに4つの建物が建っています。これがル・コルビュジエによるヨーロッパ最大のフィルミニ都市計画です。「20世紀遺産」に認定されたこの建築群は、unité d'habitation ユニテ・ダビタシオンと呼ばれる住宅施設（1965）、文化会館、競技場、サン・ピエール教会（1973年着工、2006年に José Oubrière ジョゼ・ウブリーが完成）から構成され、ここにル・コルビュジエの有名な弟子である André Wogensky アンドレ・ヴォジャンスキーが設計したプールが加わっています。ル・コルビュジエは建築には文化生活と娯楽、スポーツと信仰つまり「体と心をリフレッシュする場所」が共存すべきだと考えていましたが、フィルミニ・ヴェールは、それをよく表しています。

ユネスコの世界遺産に認定された17のル・コルビュジエ作品の中に、フィルミニの文化会館が入っています。この建物と競技場、ユニテ・ダビタシオン、サン・ピエール教会は、1年を通じて見学できます（自由見学もしくはガイドツアー）。フィルミニにはショップ、企画展スペースもあり、定期的に文化イベントを開催しています（講演会、コンサートなど）。

ル・コルビュジエと日本

ル・コルビュジエは日本の多くのプロジェクトにも関わり、彼の建築観を表現しています。その一つである東京の国立西洋美術館は、2016年にユネスコの世界遺産に登録されました。ル・コルビュジエの弟子である日本人建築家の坂倉準三は、その後世界的に知られるようになります。

フィルミニのル・コルビュジエ建築群：
 ■ www.sitelecorbusier.com
 ル・コルビュジエ財団：
 ■ www.fondationlecorbusier.fr



今も残る 歴史遺産

かつてシャルトルーズ会の修道院であった Sainte-Croix-en-Jarez サント・クロワ・アン・ジャレの村と、Château de Bouthéon プテオン城は、文化・歴史遺産として現在も残っています。サン・テティエンヌとリヨン間に位置する Parc naturel régional du Pilat ピラ地方自然公園の中にサント・クロワ・アン・ジャレの村があります。この修道院は1280年に建てられました。フランス革命のときに、修道院は城塞になりました。フランスではほかに例のないことですが、この修道院は現在フランスで最も美しい村に認定されています。村は見学も可能で、シャルトルーズ会の修道士たちの生活を偲ぶことができます。小さな回廊、かつてのパン工房、厨房、神父の庵… 中世の教会には、14世紀の壁画、15世紀に彫刻された聖職者席など、たくさんの貴重な品々があります。

Forez フォレ平野を見下ろすプテオン城は、この県で最も美しい城の一つであり、ロワールで最も訪れる人の多い城の一つでもあります。中世城塞から、さまざまな娯楽が行われた城、ルネッサンス時代の邸宅、ブルジョワのアパルトマン、文化と観光の地と、城は8世紀にわたって変化を遂げ、フォレの歴史を見つめてきました。

Andrézieux-Bouthéon アンドレジュー・プテオン市が1995年からこの城を所有しています。市は城全体と公園を改修し、ロワールとフォレの歴史遺産を披露する場としたのです。2006年には動植物公園もオープンしました。翌年にはフォレ展示館とセミナールームが開館しました。また2010年に城の博物館のなかに、ロワール河展示館ができました。

「自然」を 楽しむ

サン・テティエンヌでは、 エコ・モードが優先されています

サン・テティエンヌでは、数年前からさまざまな移動手段を導入しています。街の中心部では歩行者とエコ・モードが優先され、ゆったりと快適な生活を楽しめるようになりました。手段を多様化して、便利に移動できるように、駐輪場、自転車専用レーン、自転車中継地、そして乗り換えに便利な TGV の駅が整備されています。自転車による移動を促進するため、サン・テティエンヌ・メトロポール（サン・テティエンヌ都市圏）は2010年に自転車の無料サービスシステムを導入しました。街の歴史地区で、VéliVert ヴェリヴェールというシェアサイクルが通年24時間利用できます。ステーションは27か所あり、大きなイベントの際には、移動式のステーションも設けられます。

公共交通では、サン・テティエンヌ・メトロポールの53のコミュニティがサン・テティエンヌ交通連合で結ばれていて、1時間半の利用が1.40ユーロからとなっています。サン・テティエンヌ交通連合の利用者は1日に20万人にのぼります。街の中心部には、約10か所の自転車中継地が集中していて、自由に利用できる所と、乗車券で無料になるところがあります。

サイクリングロードの voies vertes ヴォワ・ヴェルトは丘を通りながら街の中心をまわり、いくつかの公園を結んでいて、1時間で回れる2つのコースがあります。一つは Terrasse テラスから Chavassieux シャヴァシュー、もう一つは Puits Couriot ピュイ・クリオから Bellevue ベルヴューまでです。

公共交通に関する情報は

■ www.reseau-stas.fr

自転車の無料サービスに関する情報は

■ www.velivert.fr/sculptures...



地方自然保護区の LES GORGES DE LA LOIRE ロワール峡谷

城や美しい村々に彩られたロワール峡谷は、サン・テティエンヌからほど近く、1999年から自然保護区となっています。ロワール峡谷には、ひじょうに豊かな自然環境が残っていて（鳥類80種、両生類・は虫類17種、蝶439種など）3000ヘクタールちかい広さがあります。

この峡谷で最も有名な村のひとつに Saint-Victor-sur-Loire サン・ヴィクトール・シュル・ロワールがあります。この村には17世紀に建てられた石造りの家々と堂々たる城があります。城から見下ろす lac de Grangent グランジャン湖は、広さ365ヘクタールで長さが23キロ。水浴、ウォータースポーツ、釣りが楽しめます。フランス国内の湖港としては最大級のプレジャーボート用の港には、年間約300隻が係留されます。

峡谷に突きだしているグランジャン島は、かつては高さ60メートルの岩の岬でしたが、1950年代の終わりにダムができて島になりました。現在、この島からはすばらしいパノラマをご覧いただけます。島にある城とチャペルは、かつて渓谷が Forez フォレと Velay ヴェレの間の戦略的な場所であったことをしのばせます。ダムの反対側には Château d'Essalois エサロワ城がそびえます。城の下の湖のほとりには Camaldules カマルデュールの集落があります。サン・ヴィクトールに向かい合った中世の村 Chambles シャンブルは花崗岩の上であり、フランス最長の川であるロワールの峡谷の広大な眺めを楽しめます。

峡谷の自然や村の風景を、船からご覧いただくこともできます。サン・ヴィクトール港から出発するクルージング船が、ガイド付きの1時間コースと、食事付きの2時間コースをご用意しています。船の定員は120人。オープンなスペースと屋根のあるスペースがあり、ゆったりと風景をご堪能いただけます。

ロワール峡谷のガイド付きクルージング

■ www.croisieres-gorges-loire.fr

サン・ヴィクトール・シュル・ロワールの
ロワール峡谷自然保護センター

■ www.frapna-loire.org

ロワール峡谷混成事務連合

■ www.smagl.com

「自然」を 楽しむ

サン・テティエンヌの 入口にある地域自然公園 PILAピラ

ロワール川とローヌ川にまたがるピラは広さ700平方キロメートル、57000人の住人がいます。1974年いらい、ピラ地域自然公園はローヌ・アルプの6つの地方自然公園のうちのひとつになりました。ピラは地理的に北のCondrieuコンドリユー、西のGierジエ、東のローヌ川流域のピラ、そして南のピラ山地の4つに分けられます。

現在、47のルーラル・コミューンが「地域自然公園」と認定され、17のヴィル・ポルト（玄関の街）があります。近郊の農業、繊維産業の発展、絹、ダム建設など、街と農村部の交流が公園を作り上げました。

山地の山の高さは140メートルから1432メートルで、地中海気候、大西洋気候、大陸性気候など、複数の気候条件が混じり合っているために、多様な自然環境が存在しています。

地域自然公園には、3つのトレッキングコース（GR、グランド・ランドネ）が通っています。GR7、GR42、GR65の3コースで、ジュネーヴからle Puy-en-Velayル・ピユイ・アン・ヴレへ向かう巡礼路であるla Via Gebennensisジュベナンシス経路の一部を形成しています。豊かな自然環境の中で、マウンテンバイク、ランドネ、乗馬、クロスカントリースキー、スノーシューなど、夏冬ともにさまざまなスポーツを楽しめます。ローヌ川流域では、コンドリユーでロープトウ、Saint-Pierre-de-Boeufサン・ピエール・ド・ブフではラフティング、カヤック、カヌーなどウォータースポーツが充実しています。

さらに詳しい情報は

■ www.pilat-tourisme.fr

ラ・シャルトルーズ・ド・サント・クロワ・アン・ジャレ

■ www.chartreuse-saintcroixenjarez.com

サン・テティエンヌ周辺： 美しい村と 歴史自然遺産

サン・テティエンヌから数キロの美しい緑に囲まれたGierジエの谷にValfleuryヴァルフルリーの村があります。リヨネ山地の端に位置する魅力いっぱいの村で、巡礼の名所でもあり、「エニシダの聖母」のもとには毎年何千人もの人が訪れます。Forezフォレ平野のすぐそばには、花が咲き乱れるSaint-Galmierサン・ガルミエ村があります。フランスで最も美しい場所の一つで、小道には歴史を偲ぼせる建物があちこちに建っています。発泡ミネラルウォーターのBadoitバドワは、この村で生産されています。売店でくみたての炭酸水を飲むこともできます。

そこから2キロほど離れたSaint-Martin-la-Plaineサン・マルタン・ラ・プレーヌには、La Mourineラ・ムーリーヌと呼ばれる鍛冶屋があって、いまも過去の雰囲気を感じ出しています。中には、再現された工房があり、鉄を鍛えて作った古い道具や現代の工具が展示されています。サン・テティエンヌの南西のOndaineオンデーヌの谷のフィルミニにChâteau des Bruneauxブリュノー城がそびえています。このエコミュージアムでは18世紀に作られた部屋やチャペル、庭を見学できます。製パン室、釘を作る工房、坑道にも入ることができます。フォレ平野にあるBouthéonブテオン城では、文化と自然を楽しみながらの散策ができます。この城には、中世に作られた部分、ルネサンス時代に作られた部分があり、動植物公園、ロワール川の生物を展示した水族館もあります。ブテオン城は、フォレの情報センターでもあります。

ブリュノー城

■ www.chateaudesbruneaux.fr

ブテオン城

■ www.chateau-boutheon.com

「自然」を 楽しむ



▲ ロワール峡谷
© Christophe ROY Totem_02
Les gorges de la Loire

緑の中でレジャーを

サン・テティエンヌでは、自然の中でさまざまなレジャーを楽しむことができます。Le Parc naturel régional du Pilatピラ地方自然公園は、グループ、ファミリー、個人いづれにもおすすめの自然豊かな観光スポットです。標識を設置した道が1500キロメートルにわたって整備され、ランドネ、マウンテンバイク、乗馬にぴったりです。これで物足りなければ、Saint-Genest-Malifauxサン・ジュネスト・マリフォーでアクロブランチに挑戦したり、Gouffre d'Enferグッフル・ダンフェールをヴィア・フェラータで探検することも。セーリングや水浴がお好きなら、Saint-Victor-sur-Loireサン・ヴィクトール・シュル・ロワールの港でたくさんのウォータースポーツ（ボート、カヌー、ウインドサーフィン、双胴船など）をお楽しみください。この港は湖港としてはフランスで最大級で、300隻以上の船舶が係留されています。フォレへ向かう道には花が咲き乱れていて、途中でla Roseraie de Saint-Galmierラ・ロズレ・ド・サン・ガルミエや花のきれいなChamboeufシャンブフの村に立ち寄ることもできます。さらに東のJarezジャレのA47号線の近くに、ゴリラが有名なSaint-Martin-la-Plaineサン・マルタン・ラ・プレーヌの動物園があります。12ヘクタールの広さがあり、絶滅危惧種の動物が保護されています。アフリカ、アジア、アメリカ、オセアニアの100種の動物850頭が広大な自然の中で飼育されています。

より詳しい情報は：

■ www.pilat-tourisme.fr

サン・ヴィクトール・シュル・ロワールのロワール峡谷自然保護センター：

■ www.frapna-loire.org

ロワール峡谷混成事務連合：

■ www.smagl.com

サン・マルタン・ラ・プレーヌ動物園：

■ www.espace-zoologique.com

街にある緑地

サン・テティエンヌを散策していると、49もの公園や庭園に出会えます。parc de Montaud Montau公園（街の中心部から数分）は森と平野のある、街で最も広い公園で、ゴルフ場、ファミリー向けの庭園に囲まれています。この公園は、鳥類保護連盟から鳥類保護区の指定を受けています。サン・テティエンヌで最も古い公園である植物園は、海拔656メートルの丘に22ヘクタールにわたって広がり、街のみごとなパノラマを堪能できます。parc François-Mitterrandフランソワ・ミッテラン公園は、まさに街の酸素供給地で、土地計画家、緑地意匠家で建築家のAlexandre Chemetoffアレクサンドル・シュムトフが手がけました。新しくできた街Manufacture Plaine Achille マニユファクチュール・プレーヌ・アシルの一画にあります。

街の中心部のほど近くに、炭坑公園博物館の一部であるparc Couriotクリオ公園があります。子どもの遊び場であり、散歩する人にとっては酸素たっぷりの場所です。また、水路に沿って作られたかつての鉄道もあります。2017年の終わりには橋が完成し、街とクリオ立坑、公園をつなぐ予定です。

▲ サン・ヴィクトール・シュル・ロワール、シャルトルーズ・サント・クロワ・アン・ジャレ、ロシュタイエ © Saint-Etienne Tourisme
Saint-Victor-sur Loire, Chartreuse-Sainte-Croix-en-Jarez, Rochetaillée
▲ 発泡ミネラルウォーターのバドワ © Badoit

さまざまな 大イベント

流行にも敏感なサン・テティエンヌでは、1年を通じて数多くのイベントが催されます。たくさんの種類があって、子どもも大人も、旅行者も地元住民も楽しめます。サン・テティエンヌでは、バラエティーに富んだイベントも魅力いっぱいなのです。

文化イベントとしては、1年おきに一流デザイナーたちがあつまるサン・テティエンヌ国際デザイン・ビエンナーレが知られています。プロフェッショナルだけでなく一般の人々もターゲットにしているおすすめイベントです。2015年からは3月の1ヶ月間開催されるようになりました。インとオフの展示のほか、シンポジウム、講演会、実演などさまざまなアクティビティが行われます。期待が裏切られることはありません。その証拠に2017年には23万人の来場者があり、1万人のプロフェッショナル（そのうち500人は外国から）が招かれました。外国からも2500人の来場がありました。2019年に開催される第11回のテーマは、まもなく発表されます。また多くの人々が集まることでしょう。

文学愛好家のために、サン・テティエンヌは毎年10月にブックフェアの **Fête du Livre** フェット・デュ・リーヴルを催しています。2015年には30周年を迎えました。出版のプロのあいだでも人気が高く、読者にとっては作家に直接会うチャンスです。2017年10月6日から8日まで開催される第32回はDidier Decoin デイディエ・ドゥコワンとRomuald ロミューアルドがメインゲストで、270人の作家が招待されます。1985年に始まって以来、参加人数は増加し続けており、現在では観客と作家のあたたかでユニークな交流を楽しむ、文学シーズンの始まりを告げる見逃せないイベントとなっています。

サン・テティエンヌにはまた、ASサン・テティエンヌ（サッカーの1部リーグで活躍し、ヨーロッパカップにもしばしば出場）、Saint-Chamond Basket Club サン・シャモン・バスケットクラブなど、有名プロスポーツクラブが数多くあります。

サン・テティエンヌ地域圏では、**UEFA ユーロ2016** やツール・ド・フランス（コースのステージに24回選ばれました）といった世界的なスポーツイベントが定期的に開催されています。

サン・テティエンヌとその地域圏では1年を通じて大規模なイベントが行われています（次ページのスケジュール参照）。

10^e Biennale Internationale Design Saint-Étienne



さまざまな 大イベント

1月
Les Jazzeries d'hiver レ・ジャズリー・ディヴェール：l'association Gaga Jazz ガガ・ジャズ・アソシエーションによって企画されるフェスティバル。ジャズの有名アーティストだけでなく気鋭の若手が出演。Saint-Chamond サン・シャモンとその地域圏のさまざまな場所で開催される。
(www.gagajazz.com)

2月
Festival des Arts Burlesques バーレスク・アート・フェスティバル：MJC Théâtre de Beaulieu ボーリユー青少年文化センター劇場が主催。フランスのユーモアやお笑いを知るのに見逃せない。たくさんのスターとともに若手のパフォーマンスを楽しむ珍しいフェスティバル。
(www.mjc-theatre-beaulieu.com)

3月
Biennale Internationale Design Saint-Étienne サン・テティエンヌ国際デザイン・ビエンナーレ：1か月にわたって最高のデザインをあらゆるスタイルで見つけよう。次回開催は2019年3月。
(www.biennale-design.com)

Festival Georges Cziffra ジョルジュ・シフラ・フェスティバル：「50本の指を持つピアニスト」と呼ばれたジョルジュ・シフラを称えるクラシック音楽フェスティバル。Unieux ユニユーで開催される。才能豊かなアーティストが多数参加。
(www.ville-unieux.fr)

Festival Curieux Voyageurs フェスティヴァル・キュリユー・ヴォワイヤジュール：旅人をテーマにした映画祭。上映、展示、交流などを通じて、新しい世界を知ることができる。
(www.curieuxvoyageurs.com)

サン・テティエンヌとその周辺で開催される 注目イベントのスケジュール

4月
Festival Avatarium アヴァタリウム・フェスティバル：Puits Couriot - Parc-Musée de la Mine ピュイ立坑炭坑博物館公園で開催されるオルタナティブ・ミュージックのイベント。
(www.avataria.org)

Festival Tête de Mule フェスティバル・テット・ド・ミュール：子どもや若者向けの映画祭。上映、討論会、交流などが行われる。
(www.festival-tete-de-mule.fr)

5月
Paroles & Musiques パロール&ミュージック：2016年に25周年を迎えたフランス有数のシャンソンフェスティバル。若手とビッグネームが出演。
(www.paroles-et-musiques.net)

Fest'U フェスト・ユー：学生たちの才能を集結させる、サン・テティエンヌ大学のTréfilerieトレフィルリーのキャンパスで開催される文化イベント。有望な若手たちと出会う機会。
(www.univ-st-etienne.fr)

DesArts//DesCinés デザール // デシネ：ダンスと映画のイベント。二つのジャンルの出会いから生まれる新しい世界をお楽しみください。
(www.desartsdescines.org)

6月
Journée Vélocio ジュルネ・ヴェロシオ：有名自転車選手 Paul de Vivie ポール・ド・ヴィヴィに敬意を表して、毎年たくさんのサイクリストたちがレピュリック峠のタイムレースに挑みます。2015年に90周年を迎えた人気レース。
(www.journeevelocio.fr)

Festival Trax フェスティバル・トラックス：ヒップポップダンスのフェスティバル。フランス中から集まったプロ・アマのアーティストのハイ・クオリティーなパフォーマンス。
(www.dyptik.com/fr/festival-trax)

Festival La Rue des Artistes フェスティバル・ラ・リュ・デ・アルティスト：ストリートアートからコンサートまで楽しめる、地域圏で最も活気あるイベントの一つ。毎年超一流のアーティストから若手までがSaint-Chamond サン・シャモンに集まる。
(www.laruedesartistes.fr)

さまざまな 大イベント

7月/8月

Festival des 7 Collines フェスティバル・デ・セツ・コリーヌ：サーカス、演劇、ダンス、映画、音楽など多分野にわたるイベント。誰もが楽しめるバラエティー豊かなプログラムが魅力。

(■ www.festivaldes7collines.com)

Les Z'Estivales et les Petites Scènes de l'été レ・ゼスティバル・エ・レ・プティット・セーヌ・ドゥ・レテ：コンサート、演劇、ユーモア、展示など、200以上のイベントがサン・テティエンヌ・メトロポールのあちこちで繰り広げられます。

(■ [www.saint-etienne-tourisme.com/rubrique « À voir, à faire »](http://www.saint-etienne-tourisme.com/rubrique-à-voir-à-faire))

Roches Celtiques ロッシュ・セルティック：Lorient ロリアンのインター・ケルティック祭（ケルト文化の祭典）をご存じですか。これはそのサン・テティエンヌ版です。雄大な Rochetaillée ロシュタイエと Saint-Victor-sur-Loire サン・ヴィクトール・シュル・ロワールを舞台に週末開催。

(■ [www.saint-etienne.fr/rubrique culture](http://www.saint-etienne.fr/rubrique-culture))

Couriot l'été クリオ・レテ：子どもから大人まで無料で楽しめる。サン・テティエンヌを象徴する場所で、アペリティブ・コンサート、クリオ・プラージュ、その他たくさんのイベントが開催される。

Festival BwD12 フェスティバル BwD12：Saint-Victor-sur-Loire サン・ヴィクトール・シュル・ロワールで行われる室内楽フェスティバル。

(■ www.bwd12.fr)

9月

Musicales de Sainte-Croix-en-Jarez ミュージカル・ドゥ・サント・クロワ・アン・ジャレ：不思議な魅力いっぱいのシャルトルーズで開催される。「偉大なクラシッ

サン・テティエンヌとその周辺で開催される 注目イベントのスケジュール

クを守りながら革新する」ことを目指して、30周年を迎える音楽イベント。

(■ www.chartreuse-saintcroixenjarez.com)

Foire internationale de Saint-Etienne サン・テティエンヌ国際見本市：地元の経済活動にとってきわめて重要なイベント。サン・テティエンヌの企業のノウハウをアピール。毎年テーマを決めて開催される（2017年のテーマは「キューバ」）。

(■ www.foiredesaintetienne.com)

Kinocambique キノクタンビュル：短編映画を制作する国際イベント。約10日間の開催期間中、監督、俳優、技術者が世界中から集まって、映画を作る。

(■ ciel-lesnoctambules.com)

10月

Fête du Livre フェット・デュ・リーヴル：3日のあいだサン・テティエンヌが文学の街に。街の中心部で、作家と読者の交流が行われる。

(■ www.fetedulivre.saint-etienne.fr)

Vogue des Noix de Firminy ヴォーグ・デ・ノワ・ドゥ・フィルミニ：フランス最大級の縁日。街の中心部に400以上のアトラクションが設置される。

(■ www.ville-firminy.fr)

Rhino Jazz リノ・ジャズ：オーヴェルニュ・ローヌ・アルプで Jazz à Vienne ジャズ・ア・ヴィエンヌについて大きなジャズコンサートのイベント。ジエ、サン・テティエンヌ、オンデーヌ、フォレそしてリヨンでもコンサートが行われる。

(■ www.rhinojazz.com)

Sainté Accueille Ses Étudiants サンテ・アクイユ・セ・ゼチューディアン：10日間、サン・テティエンヌの都市部にある文化遺産や施設に地元学生を招待する。コン

サート、展示、交流などが無料で楽しめる。

(■ www.saint-etienne.fr)

Tournez court トゥルネ・クール：短編映画フェスティバル。毎年コンペに多くの作品が寄せられる。フランスの映画イベントの中でも注目のひとつ。

(■ www.tournezcourt.fr)

11月

Les Oreilles en Pointe レ・ゾレイユ・アン・ポワント：革新的な音楽フェスティバル。フランス語楽曲を歌う歌手（新鋭からビッグネームまで）が出演。すばらしい雰囲気なかで楽しめる。

(■ www.oreillesenpointe.com)

Face à Face ファサ・ファス：フランスを代表する国際的なゲイ&レズビアン映画フェスティバルの一つ。短編・長編映画の上映のほか、講演会やショーも行われる。

(■ www.festivalfaceaface.fr)

12月

Festi' Mômes フェスティ・モム：子どもたちのためのお祭り。子ども向けのスペクタクル、メリーゴーラウンド、縁日など、賑やかでバラエティーに富んだプログラム。

(■ www.saint-etienne.fr)

SaintéLyon サンテ・リヨン：フランスで最も有名な山岳レースの一つ。約1万人のランナーが、サン・テティエンヌからリヨネ山地を越えてリヨンまで、夜を徹して走る。感動まちがいなし！

(■ www.saintelyon.com)

ショッピングと お出かけ



デザインを楽しみながらショッピング

デザインの中心地であるサン・テティエンヌには、地元根ざしたお店、とりわけ多くのクリエイターやデザイナーのお店や展示場があります。こういった場所では、たくさんのアーティストを育てた街の活気を感じることができますし、自分用にもしくはお土産に、ここでしか見つからない品物を買うこともできます。concourc Commerce Design Saint-Etienne サン・テティエンヌ商店デザインコンクール受賞者のお店を回れば、街の中心部で簡単に素敵なデザインのお店を見つけられます。このコンクールは、インテリアデザイナーや建築家との協力でリノベーションした商店、ホテル、レストランを1年おきに表彰しています。革新的で、エネルギーにあふれ、楽しい気分になれる場所を見つけるよい方法です。けれどもサン・テティエンヌの中心街にはそれ以外にも、さまざまな商品が販売されています。どんな好みの方にも、きっとお気に召すものが見つかります。サン・テティエンヌの道を歩けば、職人の個人商店から有名なチェーンストアまで、必要なものはなんでもそろいます。新しい店も毎年のようにオープンしています。たとえば2017年には、レディース・ファッションの Des Petits Hauts デ・プティ・オー、レストランの Di Voglia ディ・ヴォグリア、コスメブランドの Beauty Success ビューティー・サクセス、ドイツの衣料ブランド S. Oliver エス・オリバー、ハウスリネンの Linvosges ランヴォージュが開店しました。Crêt de Roc クレ・ドゥ・ロックの丘のふもとには食品店の Vrac-en-Vert ヴラック・アン・ヴェールが、Roanne ロアヌ方面から着いてすぐの Michelet ミシュレー通りにはチョコレートの Pralus プラリュスがオープン。中心街のお店は以前と変わらず好調ということですよ。

より詳しい情報は：■ www.saint-e-shopping.com

サン・テティエンヌ 観光会議局のショップ

サン・テティエンヌ観光会議局のオープンスペースである La Plateforme ラ・プラットフォームは地元の特産品や技術をアピールする進化型のショールームで、ぜひお立ち寄りいただきたい場所です。ショップも併設されており、サン・テティエンヌの産業や歴史に関連した商品を手に入れることができるだけでなく、コンサートやスポーツのチケットも購入できます。販売されている商品もそうですが、この建物もデザインを意識した作りになっています。ラ・プラットフォームにいらっしやれば、サン・テティエンヌの豊かな産業、歴史、観光の全体像がわかるのです。

世界に名高いオーディオメーカー、 FOCAL フォーカル

Focal-Jmlab フォーカル-Jmlab は、ハイファイ機器の世界的リーダーとして、もう35年以上知られています。フォーカル-Jmlab はサン・テティエンヌ（ロワール）に根を下ろし、家庭用、マルチメディア用のスピーカー、スピーカーシステム、またカーオーディオ、モニタリングシステム、ヘッドフォンなどを生産しています。これらのスピーカーシステムやテクノロジーのなかには、世界のハイファイを代表するものもあります。フォーカル-Jmlab の商品はすべてフランスで設計、開発されています。35年間スピーカーテクノロジーの革新を続け、独占権、特許権も所有しています。「メイド・イン・フランス」とフランスならではの品

質を守り、そのレベルの高さは競合企業と一線を画しています。フランス国内でトップを走るフォーカル-Jmlab は、生産量の80パーセントをヨーロッパ、北米、アジア南東部に輸出しています。フォーカル-Jmlab は、2011年にイギリスの高級エレクトロニックメーカーの Naim Audio Limited ネイム・オーディオと合併しました。2014年に設立された Vervent Audio Group ヴェルヴアン・オーディオ・グループは2016年には8500万ユーロの取引高を上げました。



▲ ショコラトリー、ヴェイスの体験スペース
© Ateliers Weiss - chocolaterie Weiss
▶ フォーカル-Jmlabのヘッドフォン
© Focal Jmlab - casque audio

ショッピングと お出かけ



サン・テティエンヌでの外出

サン・テティエンヌでは、だれもお出かけを楽しむことができます。食通、宵っ張り、ナイトライフを堪能したい人… ここならきっとご満足いただけます。友達と一杯飲みたい、映画を見る、美味しいディナーを食べる、朝までクラブで踊る。こんなこともサン・テティエンヌなら大丈夫！ 地元にはたくさんのレストランがあり、人気上昇中のシェフも数多くいます（シェフの紹介記事を参照のこと）。サン・テティエンヌは美食の街でもあるのです。また、この街は昼だけでなく夜にもぎやかです。1年を通じてさまざまな文化イベントが行われたり、バーやホールのショー、サッカーチーム AS サン・テティエンヌの試合も歓喜を分かちあうひとときを過ごせます。流行をとり入れたたくさんのイベントのおかげで、サン・テティエンヌでは退屈するひまがありません。さらにサン・テティエンヌにはあらゆる予算に対応するたくさんのホテルや宿泊施設があり、2019年までに新たに複数のホテルがオープンします。すべての宿泊施設のリストはガイドブック「Manger, Sortir, Dormir à Saint-Etienne et ses environs（サン・テティエンヌとその周辺で食べて、外出して、眠る）」に掲載されています。このガイドには地元のレストラン、バー、ナイトスポットも載っています。より詳しい情報は、Club hôtelier stéphanois クリブ・オテルリエ・ステファノワ（サン・テティエンヌ・ホテル業クラブ）のサイトをご覧ください。■ www.hotels-saintetienne.fr

さまざまな顔を持つ文化の街であるサン・テティエンヌは活気に満ちています。たくさんのプログラム、多様なスペクタクル、地元だけでなく世界各国からやってきたアーティストを、コメディ劇場、オペラ座、Zénith ゼニット、Fil フィル、その他たくさんの劇場やカフェシアターで見ることができます。

サン・テティエンヌの美食と特産物

サン・テティエンヌには舌を喜ばせる美味しいお店がたくさんあります。新しいお店、歴史ある手作りのシャルキュトリー、外国の食材をあつかう店、あちこちで毎週開かれるマルシェなど、美味しいものを見つけるにはサン・テティエンヌはうってつけの街です。また、質の高い地元の食べ物も簡単に見つかります。サラソン（味付けをしたフレッシュチーズ）を添えたジャガイモのラペ、fourme de Montbrison フ

ルム・ドゥ・モンブリゾン（Tarit タリ、Pont de la Pierre ポン・ドゥ・ラ・ピエールなどのメーカーが作っているブルーチーズ）、Côtes du Forez コート・デュ・フォレのワイン（飲み過ぎには注意しましょう）、チョコレート（Weiss ヴェイス、Chocolat des Princes ショコラ・デ・ブラン、Gauchet ゴシェ、Coulois クロワ…）など、ぜひ味わいたい地元の食べ物がいっぱいあります。また美食の職人たちとも

出会えます。

■ www.delicesdu42.fr

もついろいろな体験をしたいという方には、地元の生産者が見学を受け入れてくれます。そのなかには、バドワ、ヴェイス、Cafés Chapuis カフェ・シャピユイといった有名メーカーもあります。

サン・テティエンヌで人気上昇中のシェフたち

有名な Pierre Gagnaire ピエール・ガニエールや Stéphane Nouvel ステファヌ・ヌーヴェルが活躍したサン・テティエンヌは、つねに国内で認められたクリエイティブなシェフたちを育ててきました。調理技術の習得に好都合で、高品質な地元の特産物が手に入りやすいことから、サン・テティエンヌには美味しいレストランがたくさんあります。最近人気のシェフを何人か紹介しましょう。l'Aromatic ラロマティック（rue François Gillet フランソワ・ジレ通り7）の Pierre Daret ピエール・ダレ、L'Agapée ラガペ（rue Robert ロベール通り7）の Tony Lenormand トニ・ルノルマン、l'Éléphant dans un Jeu de Quilles レレファン・ダン・ザン・ジュ・ドゥ・キーユ（rue Léon Nautin レオン・ノタン通り16）の Guillaume Carteron ギョーム・カルトロン、L'Écllosion レクロジオン（Saint-Paul-en-Jarez サン・ポール・アン・ジャレ）の Pierre Carducci ピエール・カルドウッチ、そしていまおすすめ3人が、フランス国家最優秀職人章（MOF）を授与された André Barcet アンドレ・バルセ（レストランも同名。place Albert Thomas アルバール・トマ広場）、Rochetaillée ロシュタイエの Yves Genaille イヴ・ジュナイユ、Régency レジャンシー（boulevard Jules Janin ジュール・ジャンナン通り17）の Alexis Bessette アレクシス・ベセットです。

ビジネスにも ぴったりの 魅力的な DESTINATION



TOP
FRENCH CITIES The best way
to experience France

サン・テティエンヌは 優れたいくつもの競争力を 兼ね備えた街です

ローヌ・アルプで企業の創業が最も多い街であるサン・テティエンヌには、厚い中小企業層、2万以上の企業があり（小売チェーンのカジノ、車両部品メーカー AxleTech International アクスルテック・インターナショナル、食品製造機械メーカー Clextrel クレックストラル、オーディオ機器メーカー Focal JM Lab フォーカル、テキスタイルメーカー Ganzoni ガンゾーニ、機械メーカー HEF、水溶性ポリマーメーカー SNF Floerger、光学機器メーカー Thalès Angénieux タレス・アンジェ

ビジネスの DESTINATION

フランスで2番目に大きな地域圏オーヴェルニュ・ローヌ・アルプの第3の都市であるサン・テティエンヌ。フランスで唯一のユネスコの創造都市でもあり、街には Zénith ゼニット（Norman Foster ノーマン・フォスター卿）、職業紹介所（Rudy Ricciotti ルディ・リッチオッチェ）、Châteaucreux シャトールクルーのビジネス街（横文彦）といった多くの野心的な建築物が見られます。フランス第一のデザインの街であるサン・テティエンヌは創造性豊かな地です。街にはフランスで承認を受けたデザイナーが最も多く活躍しており、2017年に開催されたサン・テティエンヌ国際デザイン・ビエンナーレには23万人の来場者がありました。人口40万人、2万の企業を擁するサン・テティエンヌには、大学生も多く、毎年多

ニュー、医療用バンドメーカー Thuasne チュアース、チョコレートの Weiss ヴェイス、衣料ブランドの Zannier ザニエなど）およそ22万人を雇用しています。グランゼコールや大学もあって2万2千人の学生が学んでおり、質の高い教育によって優秀な人材が育っています。このこともサン・テティエンヌの高い競争力を支えています。都市部には7つの Labex ラベックス（優秀な研究施設）があります（サーフェイスとインターフェイスのエンジニアリングの Manutech-Sise マニュテック・シズ、都市社会のインテリジェンス IMU（Intelligences des Mondes Urbains）など）。豊かな産業ノウハウを誇るサン・テティエンヌにはデザイン、光学、先進的な製造プロセス、医療テクノロジー、デジタルの5

の特許が申請され、多くの企業が創設されています。サン・テティエンヌ地方では、医療用繊維、水処理、ハイファイ・スピーカー、高級チョコレート、子ども向けファッションなどの代表的な企業があります。国内有数の機械工学の街であるサン・テティエンヌは、最先端の光学メーカー（3600人以上の従事者）、サーフェイス・エンジニアリング、先進的な製造プロセスメーカー（約1000の専門企業）が操業しています。サン・テティエンヌ地方には、地方自然公園、プレジャーボート専用の港、18ホールのゴルフ場、そして二つのスキー場があり、いずれも街の中心部から30分以内のアクセスです。文化施設も充実しています。近現代美術館は、近現代アートのコレクションとデザイン関連のコレクション（2万点）を所蔵していて、これはポンピドゥー・センターに次ぐ数です。ローヌ・アルプ唯一のゼニットは客席が4万以上あるスタジアムです。フィルミニにはル・コルビュジエ設計の最大の建築群が

つの優れた分野があります。デザインは街の発展の原動力で、それによってもたらされた成熟した社会生活、新しいライフスタイル、活力ある経済という点でサン・テティエンヌは他から手本とされる存在になりました。12年前から、シテ・デュ・デザインはヨーロッパの中でも珍しいユニークなサービスを提供していて、企業をサポートしています。公共文化施設であるシテ・デュ・デザインは、ヨーロッパの8つのネットワーク（BEDA, IDEALL, EnOLL（マニュファクチュアのキャンパスは、2009年にデザイン・クリエイティブ・シティー・リビング・ラボに認定されたヨーロッパのリビング・ラボの実験室）、EIDD など）のメンバーです。

あります。また毎年40以上のフェスティバルが開催されています。50以上の宿泊施設があり、客室数は2200以上です。オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地域圏の中央に位置するサン・テティエンヌは、パリからTGVの直行で2時間40分、リヨン・サン・テグジュベリ空港から50分という近さです。またTER地域圏急行輸送が30分に1度リヨンとサン・テティエンヌを結んでいます。

ビジネスにも ぴったりの 魅力的な デスティネーション

サン・テティエンヌ観光会議局のコンgres担当セクションであるサン・テティエンヌ・コンgresセンターは、ビジネストリップのあらゆる関連企業と連携しており、イベント主催者にとっては最高のパートナーです

サン・テティエンヌ・コンgresセンターにはHPもあり(■www.saint-etienneevenements.com)、3人のスタッフが常駐しています。サン・テティエンヌをビジネスのデスティネーションとして発展させることを目的としており、地元のあらゆる関係企業(宿泊、設備、会議・イベントスペース、ケータリング、サービススタッフなど)を代表しています。また、国内マーケットにおけるイベント誘致を促進し、イベント主催者のパートナーとなり、イベントをサン・テティエンヌに誘致することを望む関係企業をサポートします。

サン・テティエンヌ・コンgresセンターは、イベント主催者向けのガイドを作っており(HPからダウンロードできます: ■www.saint-etienneevenements.com)。ここには、地元の会議・イベントスペース、



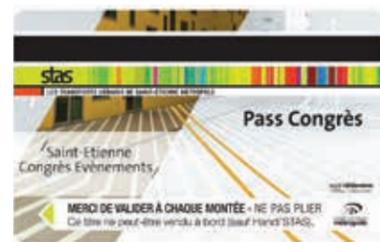
SAINT-ETIENNE CONGRÈS ÉVÉNEMENTS サン・テティエンヌ・コンgresセンターは最高のパートナー

宿泊施設、ケータリング、サービススタッフ、レジャーなど、あらゆる情報が掲載されています。また、全国的な展示会、会議の主権者には、デザインキットをお渡ししています。サン・テティエンヌ市、商工会議所と共同で作られたこのキットには、有意義にご滞在いただくためのあらゆる有用な情報が集められています。

2015年より、私どもは600人以上参加(宿泊つき)のイベントの主権者に、PACK ACCUEIL CONGRES バック・アクイユ・コンgreをご提案しています。駅やホテルへの出迎えによって、参加者の方々がそれぞれのご都合に合った時間に会場に到着できるようにいたします。

新しいスタイルをお探であれば、4つの新しいタイプのセミナーのご提案がございます(クリエイティブをおこなうセッション、サン・テティエンヌのデザイナーによる講演会、マテリオテックでの体験コーナー、ガイドツアー)。

さらに、ビジネス旅行者のアクセスと滞在を便利にするために、サン・テティエンヌ交通連合との協力で、Pass Congrès パス・コンgreを発行しています。



このパスは、イベント主催者のみ使用可能で、イベント期間中すべてのトラムウェイ、バスが乗り放題となります(価格: 1~3日の期間で2~4ユーロ)。

また出発前には、観光会議局のショップでデザイン商品、美味しい食べ物、地元生産品だけでなく、街の歴史(炭坑、自転車、絹織物など)に関係した品、チョコレート、ワインなどたくさんのお土産をご覧ください。

移動、 アクセス

サン・テティエンヌのショー ウインドウ、PLATEFORME プラットフォーム

サン・テティエンヌ観光会議局は、2013年5月に新しいスペースをオープンしました(rue de la Libération リベラシオン通り16)。Plateforme プラットフォームと名付けられたこのスペースは、地元企業のノウハウを生かして作られた進化型のショールームです(Focal JMLab フォーカルのスピーカー、Souvignet スーヴィニエの家具、Cellux セリュックスの照明器具、Chapuis シャピュイのカフェ、Casino カジノのイノベーションルーム)。利用者(旅行者、住民、企業など)のための生活、交流、共有の場であり、提供しているのは単なる地元の情報だけではありません。まさに観光業のショーウインドウといえるでしょう。

たくさんのメディアが設置されていて(タブレット、タッチパネル、パノラマスクリーンなど)、宿泊施設、レストランだけでなく、魅力的なスポットやアクティビティを見つけることができます。またお茶を飲んだり無料Wi-Fiを使いながら、地元の雰囲気を楽しむことも。

プラットフォームには、受付、ショップ・チケット売り場、資料スペース、そして大規模なイベントを開催できるステージつきのホール Agora アゴラの4つのスペースがあります。



サン・テティエンヌ・シ ティー・カード

サン・テティエンヌ観光会議局は、個人旅行を充実させ、旅行者のアクセスを便利にすることによって地元観光の魅力を促進するために、2015年末に「サン・テティエンヌ・シティー・カード」を発行することを決定しました。これは、すべての公共交通に使用できるプリペイドカードです。また、16の観光スポット(Cité du Design シテ・デュ・デザイン、Musée d'Art et d'Industrie 芸術産業美術館、site Le Corbusier ル・コルビュジェの建築群、Musée des Verts AS サン・テティエンヌ博物館、「Ville d'art et d'histoire 芸術と歴史の街」ガイドツアーなど)、STAS サン・テティエンヌ交通連合の乗り物にも利用でき、ほかにもたくさんのパートナー企業から割引を受けられます(レジャー、スベクタクル、ショッピング、レストランなど)。タッチする必要のないテクノロジーを用いて、OùRA! ウーラ!のコミュニティ(ローヌ・アルプの交通ネットワーク)であるサン・テティエンヌ、リヨン、ヴィエンヌの交通機関で使用可能で、移動がとて便利になります。

シティー・カードは、大人料金が1日券が18ユーロ、2日券が28ユーロ、3日券が38ユーロ(4歳~17歳は1日券が13ユーロ、2日券が20ユーロ、3日券が27ユーロ)。3つのアクティビティに使えます。

サン・テティエンヌ観光会議局、いくつかの観光スポットで購入できます。さらに詳しい情報はこちらをご覧ください:

■ saint-etienne-citycard.com



街を愛する GREETERS グリーターのネットワークが 旅行者を案内

2015年、サン・テティエンヌ観光会議局は、「Greeters de Saint-Etienne Métropole サン・テティエンヌ・メトロポールのグリーター」のネットワークを設立しました。「グリーター」とはフランス語では「宿主」とか「おもてなし委員会」と訳せるでしょう。グリーターは街を愛するボランティアで、友人を迎えるように旅行者をもてなす人たちです。少し時間を使って、散歩したりお茶を飲んだりしながら、お気に入りの場所を紹介したり、住んでいる界隈や街のことを話したり、日常生活をともにするのは、人との出会いと交流です。

グリーターは持続可能な観光や文化交流を目的に1990年代にニューヨークで生まれました。20年たった現在、グリーターは世界中の都市に広がり、世界的に知られるようになりました。サン・テティエンヌのグリーターは、fédération France Greeters フランス・グリーター連盟と国際的な組織 Global Greeters Network グローバル・グリーターズ・ネットワークに所属しています。グリーターとの街の散歩をご希望の場合は、サイトでご予約ください。:

■ saint-etienne-greeters.com

移動、 アクセス

SAINT-ETIENNE DESIGN CITY GUIDE サン・テティエ ンヌ・デザイン・シティー・ ガイドで、街を別の角度か ら発見する

このガイドは、サン・テティエヌのデザ
インスポットを観光しやすくするために、
観光会議局とサン・テティエヌ・メトロ
ポール、サン・テティエヌ市、シテ・デュ・
デザインそしてサン・テティエヌ整備公
団によって作られました。建築物 (Îlot
Grüner イロ・グリュネ、Cité du design
シテ・デュ・デザイン、Zénith ゼニットな
ど)、整備された都市スペース (place de
l'Hôtel de ville 市庁舎広場、parvis de
la gare Châteaureux シャトークルー
駅の広場など)、美術館・博物館 (Musée
d'art moderne et contemporain 近現代美
術館、Musée d'Art et d'Industrie 芸術産
業美術館など)、商店や市外 (Firminy フィ
ルミニ、Unieux ユニユー、Saint-Chamond
サン・シャモン) などが掲載されています。
この小さなガイドはデザインに興味のある
人にはぜひおすすめです。旅をしながら
面白いデザインを見つけるのに便利な地
図と情報が一杯です。以下のサイトから
ダウンロードできます。

■ www.saint-etiennetourisme.com

サン・テティエヌ・ メトロポールの レジャーを紹介する ふたつのインターネットサイト

天気予報、美食、散歩、コンサート、ス
ベクタクル、美術館・博物館、イベン
ト… 二つのサイトが都市部と郊外のあ
らゆるおすすめイベント、アクティビティ、
観光スポット、レジャーを掲載していま
す。:

■ www.monweekendasaint-etienne.com

■ www.saint-etiennetourisme.com

「mon week-end」は、天気予報、場所、
キーワードなど、テーマ別に毎週末サン・
テティエヌ都市部のおすすめ情報を掲
載しています。サン・テティエヌ観光会
議局のプロフェッショナルである5人の編
集者がネットユーザーたちに貴重なアド
バイスを気前よく教えています。小さな
マークがそれぞれの編集者の好みやキャ
ラクターを教えてくれるので、自分に合っ
た情報を見つけるのに便利です。ショッ
ピング、文学、スポーツ、音楽、映画、
歴史、展覧会、演劇…アニエス、ファニー、



マリー＝リーヌ、ジュリアンがそれぞれの
専門分野から毎週自分のお気に入り週
末のおすすめを教えてください。さらにお
まけとして、リヨンとヴィエンヌのおすす
めスポットも紹介されています。
もうひとつは、サン・テティエヌ・メトロ
ポールの観光サイト ■ www.saint-etiennetourisme.com
です。こちらは地元の自然遺産、建築遺
産のほか、アクティビティ、レジャー、宿
泊施設、レストラン、サン・テティエヌ
の都市部とすべてのコミュニティで1年を
通じて行われるさまざまなイベントの情
報が掲載されています。

取材の トピックス

1/フランスで唯一の ユネスコ認定の デザイン都市

サン・テティエヌは以前からクリエイティ
ブな街でした。国立兵器工場の設立とと
もに、街には豪華な拳銃に彫刻をほどこ
す工房がいくつもできました。ほどなくし
て、兵器の発注が減少するシーズンのた
めに新しい分野が開拓されました。こう
して自転車産業が世界的な成功を取めたの
です。繊維産業では、飾り紐の製造者た
ちが丘に工場を作りました。現在、繊維
とリボンの産業は、新しい繊維の開発を
続け、この地方で強い存在感を示してい
ます。サン・テティエヌの技術が生んだ
これらの産業については Musée d'Art et
d'Industrie 芸術産業美術館で詳しく知る
ことができます。それぞれの歴史や、どの
ようにして現在デザインと関わっているの
かがわかります。デザインはサン・テティ
エヌの街とその産業のなかにあふれてい
ます。街を歩いていると、建築や都市計
画のなかに、たとえばデザインされたベン
チである bancs d'essai バン・デセが、
街路や Cité du Design シテ・デュ・デザ
イン、Musée d'Art Moderne et Contem
porain 近現代美術館のような文化施設
にたくさん置かれています。商店もデザ
インへの意識が高く、サン・テティエヌ市
が主催する商店のデザインを競う
Concours Commerce Design 商店デザ
インコンクールに参加しています。また
Biennale Internationale du Design 国際
デザイン・ビエンナーレも忘れるわけには
いきません。2年に一度、新しいデザ
インを見つけるために世界中から来場者
がやって来ます。

■ www.saint-etiennetourisme.com

▲ グラフのマリオン・デュバンシェ・ステュディオ、アトリエ・ヴェイス
© Magali Stora / @ Saint-Etienne Tourisme / @Marion
Dubanchet-Studio a'Graf - Ateliers Weiss

2/ヨーロッパ最大の ル・コルビュジエ建築群 FIRMINY フィルミニ

サン・テティエヌから数キロのところに、
フィルミニのル・コルビュジエ建築群があ
ります。産業都市の増加する住人たちの
街として作られた Firminy-vert フィルミ
ニ・ヴェールは、住居だけでなく文化・
スポーツ・宗教の複合施設も設計されま
した。1955年からル・コルビュジエはプ
ロジェクトのこの部分に大きく貢献しま
した。最初に作った文化会館は、ユネスコ
の世界遺産に登録されました。カーブ
した屋根とうねるようなガラスのファサ
ードをもつ、まさに建築の偉業といえる
でしょう。ル・コルビュジエが設計した文
化施設は、ヨーロッパでは他にありませ
ん。競技場は、フランスで唯一史跡に指
定されています。Eglise Saint-Pierre サン・ピ
エール教会は2006年にル・コルビュジ
エの弟子である José Oubrière ジョゼ・ウ
ブリーが完成させました。ウブリーは
1973年から教会建築家として活躍して
います。1965年にル・コルビュジエ自
身によって住宅の Unité d'Habitation ユニ
テ・ダビタシオンが、次いでプールが
André Wogensky アンドレ・ヴォジャンスキー
によって完成されました。
現在この建築群では、いくつかの建物と
ユニテ・ダビタシオンを回る定期ツアー
や、教会で行われるコンサート (すば
らしい音響です) などが催され、建物を
たっぷり堪能できます。
この建築群は、近現代美術館と提携し
て、美術館オープン30年記念パスも
利用できます。

■ www.sitelecorbusier.com

3/高級チョコレートの トップメーカーである ヴェイス家

1882年に Eugène Weiss ウジェーヌ・ヴェ
イスがチョコレートの地であるサン・テ
ティエヌに彼の最初の店をオープンした
ことから物語は始まります。プラリネの
スペシャリストであった彼は程なく Weiss
et le Haut Chocolat® ヴェイス・エ・オー・シ
ョコラのブランドを立ち上げました。現
在、サン・テティエヌ、クレルモン・フ
ェラン、リヨン、そしてストラスブール
に全5店舗が展開されています。ヴェ
イスはまた世界中にチョコレートを輸
出していて、日本の多くのレストラン
やショップでもあつかわれています。
2016年にヴェイスはサン・テティエ
ヌにまったく新しいスペースである
Ateliers Weiss アトリエ・ヴェイスを
オープンしました。チョコレート工場
の横に作られたこのアトリエは、彼ら
のチョコレートの製作過程を広く紹介
しています。さまざまな展示がされて
いる通路は、「台所」の上を通り、ここ
からチョコレート作りのそれぞれの段
階をリアルタイムで見ることができ
ます。通路を下りたところにショッ
プとレストランスペースがあり、自
分だけのタブレットチョコレートを作
ることもできます。

■ www.weiss.fr

連絡先 & プレスキット

サン・テティエンヌ観光会議局のプレス・サービス・セクションでは、この地方の観光資源のすばらしさをアピールし、そのプロモーションと情報周知を担当しています。主な業務内容は以下の通りです。

- 日常的にジャーナリストの要請に応える。:興味に即した情報の要求 (新情報、ニュース、レストラン、宿泊施設、観光スポット、イベントなど)
- 取材の準備や取材の企画、さらに (もしくは) ヴィデオ、クリップ、映画の撮影をサポートする。
- 業者のツアー、大規模なイベント、また要請のあった場合に、プレスを編成、招待する。
- 観光会議局の業務に関連した情報を流すとともに、プレス・コミュニケ、ニュースレター、プレス資料などを定期的に送付することによってパートナーや観光業者の情報を中継する。
- パートナーへのコンサルティング、サポート、共同プロデュース。

サン・テティエンヌ観光会議局、ジャーナリストやプレスカード会員にプレスキットを提供しています(仏語、独語、英語)。

このプレスキットは USB メモリーで、記事の取材や取材準備に役立つ情報がぎっしり詰まっています。お問い合わせいただければ発送いたします。内容は以下の通りです。

- サン・テティエンヌ・メトロポールの魅力を紹介した資料。
- サン・テティエンヌ会議局/トラヴェル・プランナーの観光資料。
- Saint-Etienne Congrès Événements サン・テティエンヌ・コンGRESセンターの、イベント主催者向けガイド。
- 魅力的なヴィジュアル資料 (コピーライトつき)。
- サン・テティエンヌ観光会議局とサン・テティエンヌ・コンGRESセンターのロゴ。

ご希望であれば、これらの資料はプリントした状態でお送りすることも可能です。外国語版は、英語とドイツ語があります。

CONTACT

観光旅行向けプレス

Anne-France DECROIX

アンヌー・フランス・ドゥクロワ

マーケティング・コミュニケーション責任者

■ af.decroix@saint-etiennetourisme.com

+33(0)4 77 49 39 19

Fanny DEBON ファニー・ドゥボン

プロモーション/個人観光旅行担当

■ f.debon@saint-etiennetourisme.com

+33(0)4 77 49 39 05

CONTACT

ビジネス旅行向けプレス

Estelle ROUCHOUZE エステル・ルシューズ

サン・テティエンヌ・コンGRESセンター責任者

■ e.rouchouze@saint-etiennetourisme.com

+33(0)4 77 49 39 02

04 77 49 39 02